

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第51号

令和2年12月23日 山内

○終業式校長講話 - 1年前, 10年前, 100年前 -

岩高生の皆さん, そして先生方おはようございます。今日は「1年前, 10年前, 100年前」の話をします。短時間で終わりますので聞いてください。

100年前, 「スペイン風邪」というウイルスが世界的に大流行しました。全世界で5000万人もの死者を出し, 日本でも人口の0.8%にあたる45万人が亡くなりました。予防策としては, マスクをつける, 蜜を避ける等今と変わらない対策をしていました。終息までに2年ほどかかりましたが, のちのちこれは免疫抗体を獲得できたからだと言われました。ワクチン等効果的な医学治療法もない中で, 他国と比較して被害が少なかったのは, 医療従事者の献身とマスク手洗い等を徹底した国民性によるものだと言われています。努力は無駄ではなかったということです。なお, スペイン風邪の発祥はアメリカであって, スペインではありません。当時は世界大戦中で中立国のスペインがこのウイルスについて世界に発信したからです。

1年前, 中国武漢で「covid-19」(2019年に発生した新型コロナウイルスの略)が発生しました。国名や地名を使わなかったのは偏見や誤解を避けるためです。この新型ウイルスは皆さんご存じのとおり, 12月20日時点で, 全世界で7600万人の命を奪い, 日本でも約20万人が感染し, 2900人が死亡しています。世界的に見れば, スペイン風邪同様, 日本人の感染者・死亡者の数は少ない方です。このことは, 医療従事者の献身とマスク手洗い等を徹底した国民性によるものだと思います。報道では来春からワクチン接種が始まるらしいですが, 本当に待ち遠しいです。

未曾有の大震災からもうすぐ10年です。宮城県内だけで9500人以上の方が亡くなり, 未だに1200名もの方々が行方不明のままです。生きたくとも生きられなかった多くの人々がいたことを私たちは忘れてはなりません。そしてあの混乱の中でも不自由な生活に耐え, 略奪等の犯罪もほとんどなかったという日本人の国民性を誇らしく思うと同時に, 海外からは福島宮城岩手には原発事故の影響で足を運ぼうとしない人が多くいて未だに「偏見・風評被害」が続いていることも忘れてはなりません。

この冬休み中, 244人の生徒, 43人の職員全員無事に元気であることを願います。不要不急の外出を避け, 感染予防を徹底してください。しかし, コロナウイルスの猛威は衰えを知りません。県立高校でも職員や生徒が感染した学校も10校を超えました。本校でもいつそのようになってもお不思議ではありません。もしそうなった時でも, 感染した人への誹謗中傷は絶対に行わないでください。私は岩高にはそのような人はいないと信じています。悪いのはその人ではなく, ウイルスなのです。

今日も話を聞いてくれてありがとうございました。これで講話を終わります。皆さん良いお年をお迎えください。元気に1月8日(金)にお会いしましょう。

毎朝の 検温をして 十日ほど 前の自分を はかっている